新高1年生

「情報Ⅰ」2025年から共通テストに

国立大学協会が、2025年の共通テストから」全国立大学が一般選抜の受験生に対し、「情報Ⅰ」を課すのを原則とするとの方針を総会できめた。その背景には日本が国際的に情報化で立ち遅れているなか、国立大はデータサイエンスの知識を持った人材育成の中核を担う必要がある。しかし正規の情報科免許を持つ教員の数や指導力に地域差があるなどの課題もある。

　また、導入初年度に関しては浪人生への影響を最小限に抑えるため「情報Ⅰを課す大学は真にその教科の学習が必要な大学のみとするようにと」要望している。浪人生は情報Ⅰではなく現行の「情報」の科目「社会と情報」「情報の科学」を学んでいる都合で、大学入試センターにおいて共通テストにおいて経過措置問題を作成するというA案が関係団体に示された。

　情報Ⅰを課すのはあくまでも「原則」であって「義務」ではないが、「情報」は大学に入ってからも文理問わず、1年生から4年生まで学んでいくことになるので積極的に学んでいくことが必要となる。